とだ議会だより

No.211
12 2020年 月定例会
発行：2021年1月31日

新しい町の名称決まる！ ▶2
勇退議員の紹介 ▶3
4常任委員会の年間活動成果 要望書等を提出 ▶15
政務活動費の運用指針決まる ▶15

撮影：第10回戸田フォトコンテスト～2020フォトコンテスト～応募作品より

戸田市議会 検索
https://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/

令和2年
12月定例会
11月24日～12月16日

12月定例会は11月24日から12月16日までの23日間の会期で開かれ、市長提出議案等36件と、議員提出議案2件が提出され、いずれも承認・可決しました。また、2議案に対し2人が質疑を行いました。

4日間にわたる一般質問では、18人の議員が活発な論戦を展開しました。

新しい町の名称決まる！

11月1日に新住所「美女木北」を施行予定

主な議案と質疑

◇新しい町名の決定

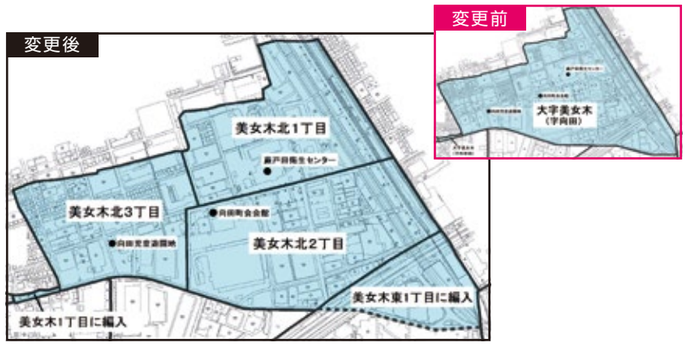
美女木向田地区における住所整理に伴い、新町名を「美女木北」とするものです。

Q 町名地番変更の経緯は。

A 平成31年1月に「美女木向田地域整備計画」によるまちづくりが始まり、同年4月には向田町会から住所整理に関する要望があったことから、新たに変更することとなった。実施は、令和3年11月1日を予定している。

Q 住所変更などの手続きは。

A 該当地域の住民については、運転免許証やマイナンバーカードの住所変更などがある。法人については、本店や支店の所在地、代表者に関する住所の変更登記などがあり、手続きの詳細については、説明会などで丁寧に説明し、周知を図る。



▲町名の変更と他地域への編入が行われます

◇令和3年度組織改正（条例改正）

Q 「デジタル戦略室」の設置目的と経緯は。

A デジタル化による市民サービスの利便性向上と、業務効率化を目指し、これまで以上に全庁的かつ戦略的なデジタル化推進体制の強化を目的に新設する。

Q 「都市交通課」の設置目的と経緯は。

A 日常生活に必要不可欠な交通手段の確保や交通安全対策など、まちづくりの観点から整備事業を総合的に推進することを目的に新設する。都市計画道路や歩行者自転車道路網の整備などのハード面と、コミュニティバス事業の運営や交通安全対策などのソフト面の事務を担当する。

◇戸田駅西口駅前交通広場整備工事請負契約

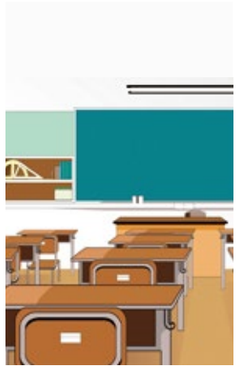
戸田駅西口駅前交通広場460平方メートル及び都市計画道路247・9メートルを整備するための契約です。令和2年度中にバス停などの仮乗降場と都市計画道路などを整備し、令和3年度に都市計画道路2路線を含めた駅前交通広場を整備する予定です。

▲戸田駅西口駅前交通広場完成イメージ

◇戸田東小・中学校の備品購入（財産の取得）

令和3年4月に供用開始となる、戸田東小・中学校の新校舎に必要となる備品を購入するものです。

- 各種机　299台
- 各種椅子　861脚
- 各種棚　128台
- その他ホワイトボードや教卓など



◇一般会計補正予算

ひとり親世帯臨時特別給付金（再支給） 5千8百万円

子育てと仕事を一人で担うひとり親世帯では、新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てに対する負担の増加や収入の減少などが生じていることを踏まえ、国において、予備費を活用し、ひとり親世帯臨時特別給付金の再支給を行うものです。

意見書

意見書を国・政府に提出

◇不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書

妊娠を考える年齢が上がり、不妊に悩む人が増える中、体外受精で生まれた子供や不妊治療の件数は過去最高を更新した。「特定不妊治療助成事業」では、助成額などを段階的に拡充し、不妊治療への保険適用もなされてきたが、費用がかかる体外受精などは保険適用外である。安心して治療に取り組めるよう、保険適用の拡大・所得制限の撤廃を含めた助成制度の拡充を強く要望する。

◇犯罪被害者支援の充実を求める意見書

十分とは言い難い犯罪被害者支援の充実を図るため①損害回復の実効性確保②犯罪被害者等補償法制定③公費による被害者支援弁護士制度創設④病院拠点型ワンストップ支援センター設立⑤地方公共団体における犯罪被害者支援条例制定など、5点を要望する。

勇退議員の紹介　長い間お疲れ様でした

手塚　静枝　議員

平成12年から連続5期20年間にわたり市政に貢献。その間、2度の議長や議会運営委員長、議会広報委員長などを歴任。

馬場　栄一郎　議員

平成16年から連続4期16年間にわたり市政に貢献。その間、議長や総務常任委員長、市民生活常任委員長などを歴任。

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、18人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問･答弁の大要で、質問者本人が執筆しております。

なお、各ページに掲載しているQRコードから、各議員の一般質問の録画配信映像をご覧いただけます。

また、議会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、議席の間隔を空けるなどの対策のほか、議場内ではマスクを着用することとしています。一般質問時には、質問席周辺に十分な空間を確保するとともに、必要に応じて口元が見える透明マスクを活用しています。

そこがききたい

道路愛称変更

やまざきまさとし
山崎雅俊 議員

Q 「東部センター通り」の愛称変更を

A 地域などの事情による変更は可能

録画配信

議員 「東部福祉センター（北）」交差点～「戸田東小学校（東）」交差点までの道路愛称を「東部センター通り」から変更できないか。

都市整備部長 道路愛称は施設の廃止や地域の事情などで必要性が生じた場合は変更可能。ただし、今まで一つであった道路愛称が二つになることや、永きにわたり使用してきた道路愛称が変わることについては、地域の皆さまのご理解、ご協力が不可欠となる。

中学校部活動への外部指導者派遣は

議員 専門性のある大学などに協力いただき、ボランティアの指導者派遣に取り組む考えはないか。

教育部長 教育委員会では、「戸田市部活動方針」を全国に先駆けて作成し、先進的な自治体として注目されている。専門性が今後の部活動の在り方にどのように役立つかについて研究していく。

保育士緊急確保・定着促進事業の継続を

議員 事業終了後も継続すべきではないか。

こども青少年部長 国・県の補助事業の内容や保育需要の動向も見据えながら対応していく。

▲道路愛称変更を求める意見がある「東部センター通り」

通信環境

Q 町会会館のWi-Fi環境整備を

A 行政連絡費補助金の交付対象である

録画配信

議員 今後の地域活動・研修・出前講座ではオンラインの活用が想定される。町会会館など、地域の通信環境整備が必要である。町会会館などは災害時、後方支援施設としても活用できる①現状は②Wi-Fiの必要性は③町会会館のWi-Fi環境整備を④Wi-Fi自動販売機などの導入は。

総務部長 ①主な公共施設20カ所に無料Wi-Fiスポットを設置し、6町会・自治会が独自で設置している②災害時の避難所における情報伝達手段を確保できるほか、平常時は無料Wi-Fiスポットとして提供することで市民の利便性の向上につながることから、有益であると認識している。

市民生活部長 ③Wi-Fi環境整備及び運用費用は、行政連絡費補助金の交付対象である④設置場所や設置条件があることから町会連合会において協議していく。

議員 町会・自治会は会員数や財政規模の違いで地域差が出始めている。行政連絡費の見直しを。

市民生活部長 平成13年度に世帯割の金額を見直した。他市の状況も確認し研究する。

あそうかずひで
浅生和英 議員

議員のつぶやき
整備で地域活動の可能性が広がると思う。

▲いいとだスポットの目印となるロゴ

いじめ問題

Q 第三者の関与と早期対応の仕組み構築を

A 重大事態に陥らない取り組みを推進する

録画配信

議員 令和2年5月27日付で、いじめ問題調査委員会の報告書が公表された。そこでは3点、改善の提案がされているが、その対応は。

教育部長 経験の浅い教員へのバックアップ体制の構築、保護者とのコミュニケーション改善のため校内メンター制度の体制づくり、部活動指導マニュアル作成と職員への周知徹底を行った。また、早期対応のための情報共有体制の強化、教員のいじめへの感度向上のための研修会などの対応を行った。

議員 いじめ問題調査委員会の機動的な立ち上げは。

教育部長 迅速な情報共有で機動性を確保していく。

議員 多忙な教師への過度な負担が、問題を深刻化させると考える。第三者の関与を進めてほしい。

無作為抽出による委員公募制度の導入は

議員 審議会などの結論を政策決定の論拠とできるよう、効果的に民意を捉える無作為抽出による市民の議論が必要と考えるがどうか。

総務部長 他自治体の事例や効果を参考にしながら研究する。

市長 前向きに検討する。

えんどうひでき
遠藤英樹 議員

議員のつぶやき
被害生徒とともに加害生徒にも十分なケアを

▲生徒も参加したいじめ撲滅を目指した啓発活動（令和元年）

高橋秀樹（たかはしひでき） 議員

スポーツセンター

Q 大規模改修の全容を伺う

A 床の全面張り替え、機器の更新を行う

録画配信

議員 ①スポーツセンターの大規模改修の全容と第1競技場床の修繕について伺う②照明の暗い部分の改善を③競技場スピーカーが一部機能していないので改善を。

市民生活部長 ①スポーツセンターの改修工事は令和4年10月から、ゲーム棟とセンター棟の電気・機械・給排水設備の改修、第1・第2競技場床の全面張り替え、駐車場整備などを実施する。第1競技場の床は、改修工事に先駆け緊急修繕を実施する②③令和4年の大規模改修時に、照明はLED照明に改修し、音響設備も更新する。

新型コロナによる学校休業の影響は

議員 新型コロナの影響で学校を2カ月間休業したことによる、授業の遅れは解消されているか。

教育部長 長期休業の短縮や学校行事の精選などにより、学習指導要領に規定された授業数を確保すべく教育課程を編成している。

議員 ①オンライン学習で授業内容を十分理解しているのか②今後も継続していくのか。

教育部長 ①オンライン学習は家庭学習支援の一環。学校再開後に補充学習などを実施した②今後も必要に応じて実施する。

▶修繕が行われるスポーツセンター第1競技場の床

石川清明（いしかわきよあき） 議員

SDGs

Q 目標達成に向けた取り組みの推進と周知は

A 計画的に取り組み理解の促進を図る

録画配信

議員 SDGsの達成に向けた取り組みをどのように推進するのか。

総務部長 第5次総合振興計画では、各施策の「取り組み方針」ごとにSDGsの169のターゲットとの関係性を整理し、施策や実行計画を推進することで目標達成に貢献する。今年度は、担当職員向けの研修を実施し、理念や意義などの理解の促進を図る。

議員 市民に対して、どのように周知するのか。

総務部長 広報戸田市1月号に、SDGsの特集記事を掲載する。記事では市民に分かりやすく、イメージしやすい身近な取り組みを例示し、それらすべてが目標達成に寄与することを伝えることで、理解の促進を図る。

議員 SDGsの達成に向けたパートナーシップの現状は。

総務部長 現時点では、国や県と連携しながら取り組んでいる。今後、認知度を高めるため企業にも協力を呼びかけ、公民連携による周知・啓発を行う。

議員 2階ロビーでSDGsに関する企画展示を実施しては。

総務部長 今後の周知・啓発方法の一つとして検討する。

▲SDGs（持続可能な開発目標）が掲げる17の目標

議員のつぶやき
みんなで出来ることから取り組みましょう

三浦芳一（みうらよしかず） 議員

新型コロナ対策

Q 検査体制の拡充と市内医療機関の公表を

A 埼玉県指定診療・検査機関27件を公表

録画配信

議員 市民の不安を取り除くためにも、検査体制の拡充と、市内医療機関の公表を求める。

福祉部長 本市では埼玉県指定診療・検査医療機関27件を公表しており、相談・受診、必要に応じて検査が可能。

がん検診の促進・啓発を

議員 新型コロナの影響でがん検診の受診者が減少している。昨年も38万人超が死亡し、早期発見が重要である。検診の促進と啓発を。

福祉部長 ホームページや広報紙へ掲載するほか、節目年齢の未受診者に受診勧奨の通知を送付する。

マイ・タイムラインの推進を

議員 我が家と個人のマイ・タイムライン※作成推進を。

危機管理監 「戸田市版逃げキッド」の普及・啓発に取り組む。

シニア世代の居場所づくりを

議員 特に企業人として生きてきた男性は、さまざまな知識・経験・見識を持っている。地域貢献の居場所づくりの深化を図るべき。

福祉部長 地域包括ケアシステムの中でも重要と認識。男女問わず推進していく。

◀埼玉県作成パンフレット（QRコードから指定医療機関が検索できます）

議員のつぶやき
コロナ疲れ・差別を吹き飛ばそう

三輪なお子（みわこ） 議員

HPVワクチン

Q 有効性・安全性のさらなる情報提供を

A 高校1年生相当にリーフレットを送付

録画配信

議員 厚生労働省健康局からの通知で、HPVワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）接種の対象者に、ワクチンの有効性・安全性に関する情報や、接種を希望した場合の円滑な接種のために必要な情報などを届けるよう示された。本市の対応を伺う。

福祉部長 高校1年生相当の対象者570人及びその保護者に厚労省が作成した情報提供用リーフレットを送付した。

議員 今後の対応について伺う。

福祉部長 小学6年生から高校1年生相当までに対する効果的な情報提供の方法について検討する。

マンホールトイレの普及促進を

議員 整備状況と取り組みを伺う。

危機管理監 建て替え後の戸田東小・中学校に10カ所設置が可能となり、現在、戸田第一小学校やスポーツセンターでも設置を踏まえた協議を行っている。マンホール整備に合わせマンホールトイレの備蓄増強に取り組んでいく。

議員 水分・糖分が取れ、小さな子供や高齢者にも食べやすい備蓄ゼリーを取り入れてはどうか。

危機管理監 検討していく。

◀子宮頸がんワクチンに関するリーフレット（厚生労働省ホームページより）

議員のつぶやき
メリット・デメリットの最新の情報提供を

※マイ・タイムライン……台風などの接近により河川の水位が上昇するときに、自分がどう行動するかをあらかじめ時系列で整理した、一人一人の防災計画。

竹内正明（たけうち まさあき）議員

交通安全対策

Q 進行管理表の現状は

A 横断歩道、交通指導員の追加配置を実現

録画配信

議員　危険箇所への対応要望などの、その後の進捗管理や関係部署間の連携強化などについて、平成28年12月定例会で提案し「進行管理表」ができた。改善例や効果など、現状について伺う。

教育部長　横断歩道、信号機の設置や交通指導員の配置など40件の要望がある。現場を確認し、内容に応じて蕨警察署をはじめ、関係部署に情報を提供・共有するなどして対応を進め、これまでに3件の横断歩道の設置、7件の交通指導員の追加配置を実現している。

議員　今後はLINEなどを活用し現場の声を拾い上げる仕組みを。

防犯対策のさらなる強化を

議員　これまで防犯カメラについては特に強い思いで提案・要望し、平成27年の市内3駅への設置をはじめ、町会への防犯カメラ補助金、見守り防犯カメラの設置などが実現した。しかし、いまだに振り込め詐欺などの被害が発生している。さらなる対策強化を。

市民生活部長　市内の全小学校区に見守り防犯カメラを整備し、令和3年度から運用を開始することにより、市内全域の犯罪抑止の強化につなげていく。

▲交通指導員が配置されることとなった通学路（画像は配置前の様子）

花井伸子（はない のぶこ）議員

コロナ対策支援

Q 第3波から命・暮らし・仕事を守れ

A 感染状況や現状などを勘案して判断する

録画配信

議員　新型コロナウイルス感染者が急増し、医療崩壊とともに倒産・廃業・失業などの危機を防ぐさらなる対策として①クラスター発生が心配される施設でのPCR検査拡充、検査費用の市独自助成を②小規模事業者・個人事業主などへの第2次支援を③商店街街路灯の電気料金100％助成を④テイクアウト半額食事券の配布を。

福祉部長　①感染状況や緊急性、優先すべき行政検査への影響を見極め慎重に判断する。

環境経済部長　②商工会や金融機関と連携を図り、市内事業者の現状を把握し、適切な支援につながるよう努める③今後も各商店会からの聞き取りを継続し調査研究する④国・県の動向、市内の感染状況や事業者の現状などを総合的に勘案して判断する。

議員　市民の命となりわいを守るために、市長は早急に決断すべき。

市内3駅の喫煙スペースを閉鎖型に

議員　望まない人が受動喫煙しないよう閉鎖型喫煙ブースに改善を。

環境経済部長　設置場所や費用、維持費などの課題が多く、今後も開放型の設置を考えている。

▶パーティションによる開放型の喫煙所

議員のつぶやき
感染抑止策と市民の生業への支援は待ったなし

十川拓也（そごう たくや）議員

地域活動支援

Q 人が集まる施設・拠点への支援を

A 安全な再開に向けた支援などを検討

録画配信

議員　新型コロナ収束後、国や県の交付金などを活用し、公共施設の利用料金を減免するなど、人が集まる施設を支援してはどうか。

総務部長　利用料金の減免や補助を実施する予定は無い。交付金の活用など、状況に合わせた支援策を検討する。

議員　行事・イベントの再開に向けた支援も重要では。

福祉部長　新型コロナ収束後に、地域の人と人とがつながる機会を創出することは重要。イベントの安全な再開に向け、支援策を検討する。

都市整備の進捗状況は

議員　戸田駅西口に、イベントに利用できる広場を整備しては。

都市整備部長　駅の出入口付近には、約1100平方メートルの多目的スペースを整備する予定で、町会や地域活動団体などによる多様なイベントに利活用できるようにする。

議員　調整池の整備を急いでは。

都市整備部長　調整池は、一時的に雨水をためる施設として機能し、都市型水害を抑制できる。区画整理事業で合計13カ所の調整池の整備を予定しており、順次進める。

▲人が集まる施設への支援が求められています

佐藤太信（さとう たかのぶ）議員

胃がん検診

Q 受診環境の改善を

A 蕨戸田市医師会と協議する

録画配信

議員　聴覚障害のある方から、胃がん健診である胃部エックス線検査を市内医療機関から断られたと相談を受けた。日本語ができない外国人を含めた受診環境の改善を。

福祉部長　聴覚障害のある方のほか、外国人の方も含め、胃部エックス線検査が難しいため胃内視鏡検査での対応を蕨戸田市医師会と協議する。

議員　映像で指示が確認できる多言語対応の「e-検査ナビ」搭載車が、市内医療機関に1台ある。今後の活用に向け、協議の場を設けることを要望する。

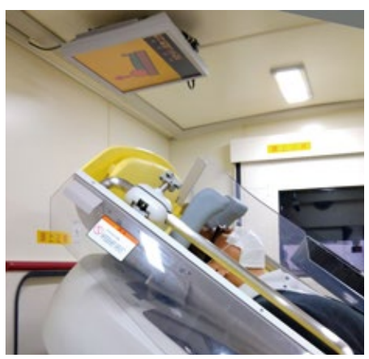
高齢者難聴の補聴器購入補助を

議員　補聴器購入補助への検討段階として、実態把握の状況は。

福祉部長　導入は難しい。地域包括支援センターに寄せられる相談を通して実態把握を行っている。

議員　地域包括支援センターにつながらない、声なき声をどのようにすくうかを考えるのが行政の役割ではないか。高齢者福祉計画・介護保険事業計画の中で実施しているアンケートで状況の確認を。

福祉部長　次回のアンケートは令和4年度を予定しており、国から示される方針を見ながら検討する。



▲「e-検査ナビ」なら文字で指示を確認可能

議員のつぶやき
声を上げられない人たちの現状把握を。

本田 哲（ほんだ てつ） 議員

議員のつぶやき
「逆回り運行」は市民ニーズです。

tocoバス

Q 高齢者と障害者の運賃を無料に

A 負担軽減は重要な視点と感じている

録画配信

議員 高齢者と障害者のtocoバス運賃を無料にすべきでは。

市民生活部長 tocoバスは、1回100円という低廉な料金体系だが、高齢者や障害者の負担軽減も重要な視点と感じている。

議員 市が実施したtocoバス利用者アンケートでは、「逆回り運行」を望む声が51・3%だった。「逆回り運行」を検証すべき。

市民生活部長 必要性について検証する。

こども医療費の制度充実を

議員 埼玉県内の23自治体が、高校卒業まで入通院とも無料で窓口払いもない。本市でも、お金の心配をせず、すぐに病院に連れて行けるよう①通院費の無料化実施を②入院費の窓口払いの廃止を。

こども青少年部長 ①新型コロナ感染拡大もあり、一定程度の期間を経て判断したい②窓口払いを廃止する影響も検討する必要がある。

少年自然の家廃止後の保護者負担は

議員 保護者負担の検討状況は。

教育部長 宿泊費については、保護者の新たな負担とならないよう、補助する方向で検討している。

▲市民にとってなくてはならないtocoバス

むとう葉子（ようこ） 議員

議員のつぶやき
いろいろな課題が解決するといいな。

保育士処遇改善

Q 新型コロナ感染対策における負担軽減を

A 国の補助金を活用して支援する

録画配信

議員 令和2年度の本市における待機児童はゼロとなったが、保育士の定着や質の確保が課題となっている①待機児童緊急対策アクションプラン（受け入れ枠の緊急拡大・人材の緊急確保）の検証結果と、支援事業継続の考えは②新型コロナ対策における負担軽減を。

こども青少年部長 ①保育士が確保され、継続して勤務する保育士も着実に増加しており、効果があった。継続については効果的な方法を考えている②国の補助金を活用して支援する。

議員 宿舎借り上げ支援事業の継続と市独自の危険手当を要望する。

通学路の安全対策を

議員 戸田第二小学校の通学路沿いに突然、コンビニエンスストアが建設され、児童が通う歩道に車での往来が可能となった。交通指導員を配置するべき。

教育部長 限られた予算内での配置となり、ほかの小学校からの要望もある。優先順位を付け判断する。

議員 突然、通学路の安全が保てなくなることもある。教育日本一というなら、安心して通学できるよう交通防犯面の対策を求める。

▲消毒などで負担がかかる保育園

矢澤青河（やざわ はるか） 議員

介護予防

Q ジム体験など官民連携で通いの場促進を

A 参考にする

録画配信

議員 コロナ禍で地域活動が停滞し、身心不調の方が増加。感染症対策など再開促進の取り組みは。

福祉部長 新しい生活様式定着のため、ガイドや動画による講座などを活用してもらいたい。

議員 他市では地域活動に特化したガイドラインを作成し、収束期の町会などの円滑な再開への支援を行なっている。再開の目安などで地域活動の再開を促せないか。

市民生活部長 円滑な活動実施のため分かりやすい情報提供を行う。

議員 本市の健康寿命は男性が県内ワースト2位と、介護予防が喫緊の課題。通いの場※の促進が必要①市の取り組みは②他自治体で行われている民間ジム体験など、官民連携で通いの場の促進を③退職後、タイミング良く活動情報が手元に届くよう周知啓発を。

福祉部長 ①シルバー人材や元気体操など、幅広い活動を側面支援②参考にする③通いの場ごとに条件が異なるため個別に周知する。

議員 フレイルチェックや出前講座などにより、コロナ禍の市民の健康状況の把握や介護予防促進を。

福祉部長 近年、出前講座追加や後期高齢者のフレイル健診実施などフレイル予防に力を入れている。

▲徐々に再開されてきた地域での活動

議員のつぶやき
コロナ禍、おうちで運動して介護予防

斎藤直子（さいとうなおこ） 議員

文化芸術振興

Q ウィズコロナ時代の推進に向けた考えは

A 活動場所の確保やオンライン配信を行う

録画配信

議員 ウィズコロナ時代の文化芸術振興推進についての考えは。

市民生活部長 文化芸術活動を継続できるよう活動場所の確保などの支援を実施している。来年度の事業開催に向け、オンライン配信や展示、開催方法を工夫していく。

議員 未来の文化芸術のビジョンとなる、文化振興基本条例の、市民や企業と連携した策定を要望する。

特定健康診査の促進を

議員 コロナ禍で健康に関心のある今こそ、受診に向けて取り組むべき。実施方法などの変更状況は。

福祉部長 今年度は9月～2月に期間を変更。混雑緩和のため電話予約制とし、複数の医療機関から「適切な受診環境を維持できた」との声があった。特定保健指導は前年比0.7%減少しており、教室中止や個別面接控えが理由と考える。今後、健診結果などの情報に基づく個別アプローチを実施する。

学童保育室の充実を

議員 作業療法士を派遣しては。

こども青少年部長 児童の発達や環境上の問題へ適切な対応は重要と考えており、指導員の研修や具体的な支援の方策を検討している。

▲文化芸術振興の中心となる文化会館（リニューアルされた大ホール）

議員のつぶやき
文化芸術で戸田を元気にコロナに負けま宣言

※通いの場……体操やスポーツ、麻雀やサロンなど、高齢者が日常的に地域の方々と触れ合い、運動やリフレッシュ、日々の生活の活気を得られる場所。介護予防やうつ病、認知症のリスク減少などの効果がある。

土屋英美子（つちやえみこ） 議員

議員のつぶやき
なんとしても存続させてほしい！

保養所

Q 「白田の湯」の存続を

A 検討委員会での意見を踏まえ方針を決定

録画配信

議員　「再編方針検討委員会」が設置され、2回開催された。検討状況と今後の方向性は。

市民生活部長　保養所の現状の確認や、運営・事業の必要性などについて検討している。今後の検討内容も踏まえ、方針を決定する。

議員　市民の代表は3人だけである。意見などは気軽に出されて話し合いは進んでいるのか。

市民生活部長　2回の検討委員会とも多くの意見をいただいている。

議員　検討委員会の回数を増やしてでも、十分に検討すべき。

補聴器購入助成制度創設を

議員　補聴器の使用で、認知症の予防、健康寿命の延伸、医療費の抑制につながるが、補聴器は高価であり、高齢者にとっては購入が困難である。助成制度の創設を。

福祉部長　症状もさまざまで、助成基準の設定が難しい。相談件数も少なく、制度導入には至らない。

その他の質問

Q　市民に喜ばれた上下水道基本料金のさらなる減免を。

A　さらなる減免は困難。「支払い猶予」の相談は引き続き行う。

▲今後について検討が進められている白田の湯

一般質問

酒井郁郎（さかいいくろう） 議員

議員のつぶやき
本市の小中学校、学力アップの余地は大！

学力向上

Q 習熟度別少人数制と立ち机の導入を

A 導入はしない

録画配信

議員　本市は先端的な教育で先行する一方、学力格差の問題は解決されていない。市独自の調査結果からは、小中学生の4割～6割が、習熟度に合わない授業を受けていると考えられる。一方、全国では学力格差の問題に対応し、20年ほど前から習熟度別少人数指導が導入されてきた。大きな効果を上げており、今では全国の公立小中学校のうち9割以上が実施している。少人数学級は国の与野党共に提言しており、もはや国論である。学力不足の児童を放置して授業を先に進めてしまわない、あるいは簡単すぎる授業に退屈し、時間のムダと感じている児童にも、適切な教育環境を提供していただきたい。また、立ち机の導入は、海外では授業中の集中力アップに絶大な効果を上げており、日本でも導入が始まっている。本市でも導入を。

教育部長　立ち机は高額で導入は困難であることから、現在の机と椅子を利用する。

議員　本市の教育は先端的だが、すべての授業で効果的に用いられているわけではない。並行して習熟度別少人数制を用いることで、目の前にある学力格差の問題に対処していくべき。

▲習熟度に合った指導が求められています

林 冬彦（はやし ふゆひこ） 議員

議員のつぶやき
プロジェクトXみたく人の物語が心を動かす

炬火台

Q 聖火台の複製製作にかかった費用は

A 原型に517万円、本体に547・8万円

録画配信

議員　ボートコースに昭和の東京オリンピックで使用した本物の聖火台があるにもかかわらず、複製を製作した経緯は。

市民生活部長　聖火リレーが再び市内を走ることを機に「ボートのまち」「聖火台のあるまち」が市民に再認識され、誇りと愛着を生み、全国に本市の魅力を発信することを意図して製作した。

議員　費用はいくらかかったのか。

市民生活部長　原型製作費として令和元年度に517万円、本体製作費として令和2年度に547万8千円である。

議員　令和元年度中にオリンピックの延期が決定されたが、今年度に入って本体が製作された経緯は。

市民生活部長　木型完成後、間を空けずに次の工程に入らないと歪みが生じ、使用できなくなるとのことから、期間を空けることなく、本体製作を行った。

議員　駅前に高額な「置物」を置いても、誰かの記念碑にはなるが、誇りや愛着は生まれにくい。誇りや愛着を生むには「関わった人の物語」が必須である。昭和の東京オリンピック当時の市民の証言を、今、記録することを提言する。

◀戸田公園に設置されているオリンピック聖火台

一般質問

知っtocoクイズ No.11

11回目となる知っtocoクイズです。
12月定例会号を読んで、皆さんも応募してください。
なお、2問とも答えを書いていただくことと、住所は番地まで書いて応募してください。

クイズ ◯ に入る言葉は、なあに？

問1　令和3年11月1日に美女木向田地区の新しい町名が「○○○○」になることが決まったよ。

問2　本市議会では、常任委員会ごとに年間活動テーマを決めて、行政に対し、○○○○などを積極的に行ってきたんだ。

応募方法等

◆はがき、ファクス、メールのいずれかで応募してください。
◆クイズの答え、住所、氏名、電話番号、年齢、職業(学校名)、議会だよりの感想を書いてください。
　　部分の記載は任意です。
◆正解者の中から抽選で5人の方に、クオカード(500円分)をプレゼントします。

あて先

【はがき】〒335-8588　戸田市上戸田1-18-1　戸田市議会事務局「知っtocoクイズ」係
【ファクス】048(433)2212　「知っtocoクイズ」係
【メール】gikaijimu@city.toda.saitama.jp
メールの件名は、「知っtocoクイズ」としてください。

◆締め切り　令和3年3月5日(金)必着

※ご記入いただいた個人情報は、目的(賞品の発送、当選者発表)以外には利用いたしません。

令和２年戸田市議会年間活動成果

本市議会では、４つの常任委員会における「年間活動テーマ」の取り組みや、議会改革特別委員会での取り組みなど、活発な委員会活動を行っており、令和２年も各委員会においては執行部への要望書の提出などを行い、議会改革特別委員会ではさまざまな議会改革に取り組みました。

次のページには、各常任委員会の活動成果について掲載しています。

区分	委員会名	年間活動テーマ	年間活動成果
政策立案・政策提言	総務委員会	危機管理の強化について	・「避難所における防災備蓄及び感染症対策に関する要望書」を執行部へ提出
	文教・建設委員会	教育現場の課題解決について～児童・生徒と向き合うために～	・執行部や学校現場へのヒアリング等を基に調査報告書を執行部へ提出
	健康福祉委員会	新型コロナウイルス感染症の現状と今後について	・勉強会や複数の関係団体との議会懇談会を踏まえ、「コロナ禍における各施設に対する支援を求める要望書」を執行部へ提出
	市民生活委員会	新型コロナウイルス対策（経済対策）	・戸田市商工会との議会懇談会での意見を踏まえ、「新型コロナウイルスから地域経済を守るための要望書」を執行部へ提出
議会改革	議会改革特別委員会	災害時における議員活動	・「戸田市議会における災害発生時の対応要領」及び「議員行動マニュアル」の一部改正
		議場等のバリアフリー化	・議場のバリアフリーが不十分な箇所の改修
		議会のＩＣＴ化	・会議資料のペーパーレス化 ・オンライン委員会の試行
		政務活動費の見直し	・「政務活動費の運用指針」を策定

『政務活動費の運用指針』決まる

議会改革特別委員会では、政務活動費の適正な制度運用や使途の透明性の確保を図るため『政務活動費の運用指針』（令和３年４月１日施行）を策定しました。

政務活動費の使途の範囲については、支出する際、判断に迷うこともあったことから、改めて、市民への説明責任と市民目線に重点を置き、判例の事例検討や他市議会の状況調査などを行いながら、協議してきました。

その結果、細部について取り決めを行い、最終的な責任は議長であることを明確にしました。また、公開した際にわかりやすくするため、書式を整備するとともに、体系化を図りました。

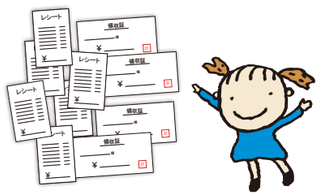
今後も、政務活動費を適正に活用していくとともに、市民に開かれた議会を目指して、取り組みを進めていきます。

▲令和3年4月以降に議会ホームページに掲載します。

政務活動費とは

本市議会では、地方自治法の規定や「戸田市議会政務活動費の交付に関する条例」などに基づき、本市議会議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として政務活動費を交付しています。

なお、交付額は、各会派に対し、月額4万円に当該会派の所属議員の数を乗じて得た額となります。



オンライン委員会（議会改革）

オンラインで試行的に委員会を開催しました

議会改革特別委員会では、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言など、議員が庁舎に参集することが困難となった場合でも、議会活動が継続できるよう、オンラインによる委員会を試行的に開催しました。委員は、自宅などからオンライン会議システムを通して会議に参加し、発言する際のルールなどを確認しながら、議会改革に関する検討事項について協議しました。

▲初めての取り組みでしたが大きなトラブルもなく開催できました

意見交換会

市議会モニターとの意見交換会を開催

令和２年12月９日に、市民からの意見を議会運営に取り入れるために任命している市議会モニターと、正副議長・議会運営委員長・議会改革特別委員長・議会広報委員長による意見交換会を開催しました。当日は、市議会モニターから出された「30年後の戸田市はどのように変化し、今何をすべきなのか」というテーマなどについて、活発な意見交換が行われたほか、議会運営に対するさまざまな意見が出されました。

▲本市の未来について意見交換が行われました

委員会視察レポート

閉会中に実施した視察について、11月24日の本会議冒頭に委員長から報告がありました。その概要は以下のとおりです。

文教・建設常任委員会

荒川第二・第三調節池の整備の概要及び計画を確認

【国土交通省　関東地方整備局　荒川調節池工事事務所】

事業計画地は第一調節池（彩湖）の上流、さいたま市から上尾市にかけて第二・第三と造り、面積として、第二・第三合わせて約760ヘクタールであり、これに第一を合わせると1,340ヘクタールとなります。これは、東京都墨田区と同じぐらいの面積の調節池になるということでした。容量としては、第一が約3,900万トン、第二・第三が約5,100万トンとなり、合わせて約9,000万トンとなります。これは、第一の約2.3倍の水を貯める能力になるということであり、ハッ場ダムの約1.2倍の治水容量を持つとのことです。

早期完成には３点の課題があり①事業費全体として約1,670億円が必要であること②土の確保③ＪＲ川越線の橋梁架け替えが必要であることを確認しました。また、事業を進めながら既存の堤防を利用し、工事期間中も、治水機能を果たしていきたい旨が確認できました。

【検証の結果】

完成までの間、市民が参加できるイベントが行われた場合には、そこに携われるという楽しみを市民へＰＲできればよいのではないか。

▲ 10月13日　荒川調節池工事事務所にて

令和2年 委員会年間 活動成果

委員会は、議案や請願の審査のほかに、所管の範囲で調査事件を定め、市政に関する調査活動を行うことができます。
本市議会では、常任委員会ごとに具体的な年間活動テーマを決め、原則、毎月1回委員会を開催し、行政に対する政策提言などを積極的に行っています。

総務常任委員会

避難所における適正な防災備蓄及び感染症対策を

総務常任委員会では、年間活動テーマを「危機管理の強化について」に設定し、市内3カ所の防災備蓄倉庫の視察を行うなど、調査・研究を進めてきました。

その成果として、「避難所における防災備蓄及び感染症対策に関する要望書」をまとめ、執行部へ提出しました。

主だった要望は次のとおりです。

【新曽中学校について】
学校を改築・増築する場合、教育委員会と連携して防災備蓄倉庫の場所を検討することなど、2点を要望しました。

【戸田競艇企業団について】
市と戸田競艇企業団が連携し、戸田競艇場の広い空間を避難所として有効活用することなど、4点を要望しました。

【その他、防災備蓄倉庫全体について】
炊き出しを行うためのガスコンロや調理器具などを揃えることなど、2点を要望しました。

【避難所における感染症対策について】
感染症対策キットの十分な備蓄に向けた協議を行うことなど、2点を要望しました。

▲ 12月8日　危機管理監へ要望書を提出

文教・建設常任委員会

戸田型ハイブリッド学習が全国のモデルとなるために

文教・建設常任委員会では、「教育現場の課題解決に向けて～児童・生徒と向き合うために～」を年間活動テーマとして調査を行いました。

コロナ禍において始まった形式として、オンライン学習と対面授業のハイブリッド型が新たな本市の教育の一つとなりました。これまでも、教員の負担増については課題がさまざまありましたが、その中でも急遽始まったオンライン学習の在り方について、それぞれの委員が地域からの声を集め、議論を重ね、現場の状況などについて、課題や効果などの質問を重ねました。

その成果として、急加速したICT化が教育現場のさまざまな課題を解決してくれることを望み、また、コロナ禍という未曽有の状況を記録するという意味でも、教育委員会事務局からの報告やヒアリングを基に調査報告書として取りまとめました。

本市における「ウィズコロナの学校づくり」が全国のモデルとなるよう期待し、当委員会としても後押しができるように引き続き取り組んでいきたいと思います。

▲ 12月8日　教育委員会事務局へ調査報告書を提出

健康福祉常任委員会

コロナ禍における各施設に対する支援の充実を

新型コロナウイルス感染症は、今後もさらなる感染拡大が予想され、いまだ収束の兆しが見えない状況にあります。これを受けて、健康福祉常任委員会では、勉強会や複数の関係団体との議会懇談会を開催し、感染症リスクが常に高い状況にある医療機関をはじめ、保育所や学童などの児童福祉施設及び介護施設などの厳しい現状を認識しました。

その成果として、各医療機関や施設関係者及び利用者の安心・安全な生活、不安の解消、また、事業所の経営危機を打開するための支援策について以下のようにまとめた要望書を、執行部に提出しました。

①医療・介護・保育現場などにおける、人材確保などの支援策を実施すること②医療機関への財政的支援を継続すること③市内保育所を対象に、大規模な感染症の流行時における運営ガイドラインを作成すること④介護施設利用者において、感染者との濃厚接触が判明した場合の緊急時の受け入れ先を近隣に確保するよう努めること。

▲ 12月8日　福祉部・こども青少年部へ要望書を提出

市民生活常任委員会

新型コロナウイルスから地域経済を守れ

市民生活常任委員会では、「新型コロナウイルス対策」のうち「経済対策」を年間活動テーマとし、商工会との懇談会などを通して、今後、市内事業者にとって必要な支援策などについて調査研究を行ってきました。

その成果として、「新型コロナウイルスから地域経済を守るための要望書」をまとめ、執行部に提出しました。その要旨は次の通りです。

①すでに実施した経済対策の検証と、事業者の声を聴く機会を設け、今後の支援策に活かすこと②支援の情報が迅速に事業者に届くようPRし、多くの支援策の中から事業者が最善の選択を行えるよう、相談・支援体制を強化すること③事業者の大きな負担である家賃・ローンなどの負担軽減のため、自己所有物件で事業を行う者も含めた、独自の家賃支援制度を創設すること④近年、融資実績の無い「中小企業制度融資」の、金利などの貸付け条件を抜本的に見直し、広く事業者に利用される制度に改めること⑤小規模事業者や、コロナ禍により増加が予想されるフリーランス、副業希望者への起業・環境整備支援など、多様な働き方を支援すること。

▲ 12月8日　環境経済部へ要望書を提出

４年間の委員会活動報告

本市議会の各常任委員会では、平成２９年２月の初議会以来、４年間にわたり毎月委員会を開催し、先進地への視察や執行部へのヒアリング、関係団体との議会懇談会を実施するなど、活発な委員会活動を通して、執行部へ政策提言などを行ってきました。

また、議会改革特別委員会では、より良い議会を目指し、日々議会改革に取り組んできました。

４年間の総まとめとして、各常任委員会が残した成果と、議会改革の歩みをご紹介します。

総務委員会

平成 29 年	公共施設のあり方に関する提言書
平成 30 年	市役所業務におけるＩＣＴ化に関する提言書
令和元年	外郭団体への関与のあり方についての提言書 市役所庁舎の有効利用に関する提言書の検証
令和２年	避難所における防災備蓄及び感染症対策に関する要望書

文教・建設委員会

平成 29 年	戸田東小中学校における小中一貫校設立についての提言書 通学路の安全対策についての提言書
平成 30 年	戸田市コミュニティ･スクール推進に向けた提言書
令和元年	空き家対策についての提言書
令和２年	教育現場の課題解決に向けた調査報告書

健康福祉委員会

平成 29 年	認知症施策の推進について
平成 30 年	共生社会の実現に向けた子育て支援施策について
令和元年	戸田版ネウボラ構築に向けた提言書
令和２年	コロナ禍における各施設に対する支援を求める要望書

市民生活委員会

平成 29 年	防犯カメラ事業についての提言書
平成 30 年	ルールを守り快適な自転車のまちづくりに向けた提言書
令和元年	絶対に騙されない！特殊詐欺対策に向けた提言書
令和２年	新型コロナウイルスから地域経済を守るための要望書

議会改革の歩み（議会改革特別委員会）

平成29年
- 災害対策支援本部設置訓練を実施

平成30年
- タブレット端末・クラウド文書共有システムを導入
- 議場からの避難訓練を実施

令和元年
- 政務活動費の領収書をホームページに公開

令和2年
- 災害時における議員活動を見直し
- 議場のさらなるバリアフリー化を実施
- 議会のさらなるペーパーレス化を推進
- 初めてのオンライン委員会を開催（14ページ参照）
- 政務活動費の運用指針を策定（15ページ参照）

議会日誌

10 月
- 1日 **総務委員会市内視察＊**
- 6日 **健康福祉委員会議会懇談会 ‡**
- 8日 議会広報委員会
- 9日 **健康福祉委員会議会懇談会 ‡**
- 12日 **健康福祉委員会議会懇談会 ‡**
- 13日 文教・建設委員会視察（14ページを参照）
- 14日 議会改革特別委員会（14ページを参照）
  市民生活委員会議会懇談会 †
- 15日 特別委員会（まちづくり・交通対策／議会広報）
  常任委員会（総務／文教・建設／健康福祉／市民生活）
- 21日 議会運営委員会
- 28日 議会運営委員会

11 月
- 2日 蕨戸田衛生センター組合議会議会運営委員会
- 9日 蕨戸田衛生センター組合議会
- 11日 議会改革特別委員会
- 16日 蕨戸田衛生センター組合議会
- 17日 議会運営委員会／
  常任委員会常任委員会（総務／文教･建設／健康福祉／市民生活）
  オリンピック聖火リレートーチ巡回展示 ‡
- 19日 戸田競艇企業団議会議会運営委員会
- 24日 本会議（議案説明）／議会運営委員会
- 27日 戸田競艇企業団議会

12 月
- 1日 本会議（議案質疑）／議員互助会総会／議会広報委員会
- 2日～4日 本会議（一般質問）
- 7日 本会議（一般質問）／議会運営委員会
- 8日 常任委員会（総務／文教・建設／健康福祉／市民生活）
- 9日 議会改革特別委員会／議会運営委員会
  市議会モニターとの意見交換会（14ページを参照）
- 16日 本会議（委員長報告、討論、採決）／議会運営委員会／議会広報委員会

議会日誌から Pick up!

＊総務委員会市内視察

本市の危機管理体制に関する調査の一環として、避難所に設置されている防災備蓄倉庫を視察しました。当日は、福祉保健センターや学校、戸田競艇場など、複数の施設を訪問し、倉庫の中身について説明を受けながら、食糧品や救助用具などの備蓄状況を確認しました。

＊＊健康福祉委員会議会懇談会

新型コロナウイルスの現状と今後について意見交換を行うため、私立保育園協会、民間学童連絡協議会、市内介護施設との議会懇談会を開催しました。懇談会では、各施設の現状や感染拡大防止策を伺ったほか、人手不足に対して求められる支援などについて意見交換を行いました。

†市民生活委員会議会懇談会

新型コロナウイルスにより大きな影響を受けている市内事業者の現状を把握するため、戸田市商工会との議会懇談会を開催しました。懇談会では、小規模事業者等臨時給付金をはじめ、本市が実施した経済対策への感想や、今後必要とされる支援について意見交換を行いました。

‡オリンピック聖火リレートーチが展示

開催が2021年に延期となった東京2020オリンピックに向け、埼玉県内を巡回していた聖火リレートーチが市役所にやってきました。

桜をモチーフとしたその形と「桜ゴールド」と呼ばれる淡いピンク色が美しく、市民の皆さんも興味津々でした。

とだ議会だよりの4年間を振り返って

平成29年初議会号（No.195）から、今回の令和２年12月定例会号（No.211）まで、４年間の任期中に17刊の議会だよりが発行されました。ご愛読いただきました皆様に対し、委員一同感謝申し上げます。

議会広報委員会では、より読みやすい紙面を目指し、先進地の視察や議員研修会を行い、日々協議を重ねてまいりました。その成果として、平成30年12月定例会号では、紙面の大幅リニューアルを行うことができました。

また、この４年間で計５回掲載した「知っtocoクイズ」には、延べ86人もの皆さんにご応募いただき、議会だよりに対し多くのご意見・ご感想を頂戴しました。

改選後の議会だよりについても、引き続きご愛読いただき、ご意見・ご感想をお寄せいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

議会広報委員会委員一同

▲ 令和2年3月26日撮影

題字を書いてくれた人

私が「とだ」を書くときに意識したことは、「と」の一画目の高さと「だ」の字のつながりです。

一つ一つ修正しながら、一枚一枚集中して書きました。

戸田市立戸田南小学校　６年　椋本（むくもと）しおりさん

2月臨時会、3月定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

2月	8日（月）	本会議（臨時会開会、各種委員の選任）
	9日（火）	本会議（各種選挙、閉会）
	22日（月）	本会議（定例会開会、施政方針、議案説明）
	24日（水）	本会議（議案説明）
3月	5日（金）	本会議（総括質問）
	8日（月）	本会議（質疑、請願の提出、委員会付託）
	9日（火）	本会議（一般質問）
	10日（水）	本会議（一般質問）
	11日（木）	本会議（一般質問）
	12日（金）	本会議（一般質問）
	15日（月）	委員会（常任委員会）
	16日（火）	委員会（常任委員会）
	17日（水）	委員会（常任委員会）
	18日（木）	委員会（常任委員会）
	19日（金）	委員会（特別委員会）
	26日（金）	本会議（委員長報告、討論・採決、閉会）

※開議時間は、3月15日のみ午後1時、その他はいずれも午前10時です。

あけまして
おめでとうございます

令和3年　正月

戸田市議会　議員一同

ほっとコーナー

新型コロナウイルスが猛威を振るっている中、本市の「新しい生活様式導入ガイド」を参考に①身体的距離の確保②マスクの着用③手洗い、の3つの基本を守り、感染しない・させないとの思いで、みんなで感染防止に取り組んでまいりましょう。（I）

コロナという鬼を豆でやっつけると、すぐにバレンタインデーですね。この時期になると青春時代の甘酸っぱい思い出が過ぎります。ひとりでも多くの方からのチョコをお待ちしております。お届け先は議会事務局まで（笑）。（E）

今年の我が家は、小学生、中学生、高校生、三人息子のトリプル卒業です!!コロナ禍での最高学年を経て、どんな卒業式になるのか。どうなっても、一生忘れられない卒業式となり、お友達と共に逆境を乗り超えてほしいと思います。（葉）

友人から「夜、眠れない」と相談されたがよく眠れる私は返事に困った。高齢になると体内時計の変化により朝早く目覚め、睡眠は短めになるとのこと。規則正しいメリハリのある生活が大事だと思う。４年間、健康第一で頑張ることができ感謝です。ありがとうございました。（T）

＊本紙は環境に配慮し「バイオマスインキ」を使用しています

バイオマス 使用部位：印刷インキ No.100014

戸田市　発行・戸田市議会　編集・議会広報委員会
TEL048-441-1800(代)　FAX048-433-2212
〒335-8588　戸田市上戸田１丁目18番１号
メール gikaijimu@city.toda.saitama.jp
ホームページ https://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/

表紙写真撮影：ニックネーム「キム」さんの作品
※「QRコード」はデンソーウェーブの登録商標です